月刊 かわごえ環境ネット

2016年9月号 No.119　　http://kawagoekankyo.net

2016 年 9 月 5 日発行　編集・発行：かわごえ環境ネット

2016 アースデイ・イン・川越 立門前

1999 年に第 1 回が開催されてから 18 回目となる「2016 アースデイ・イン・川越 立門前が」蓮馨寺・旧川越織物市場・熊野神社を主会場として周辺の会場も含めて 10 月 2 日（日）10:00-15:00 に開催されます。すでに伝統的イベントになりつつありますが、少しずつ進化している環境イベントです。今年は「フードバンク」と「食品ロス削減」と福祉のコラボも企画しています。ぜひご来場ください。（詳細は 9-10 面）

2015 年の蓮馨寺会場入口の様子

新しい「川越市環境行動計画」の作成

2017 年 2 月 25 日（土）の第 15 回かわごえ環境フォーラムまでに新しい「川越市環境行動計画の策定を予定しています。10 月初旬の原案確定をめざして活動をしております。ご意見・委員会への参加をぜひお願いします。（詳細は 8-9 面）

川越まつり会場クリーン活動

10 月 15 日（土）・16 日（日）の「川越まつり会場クリーン活動」。お祭りを違った視点から見たい方、お祭りに貢献したい方はぜひご参加ください。（詳細は 9 面）

目次

コラム	私のエコ体験（3）目薬の木を煎じて飲みました！	2
	川越の自然を訪ねて（46）大人の自然観察	3-4
報告	かわごえ環境ネットの活動（1 題）	4-5
	会員・流域の活動（3 題）	5-7
	専門委員会（2 題）	8-9
予告	かわごえ環境ネットの主催・出展・後援・関連行事	9-11
	会員・関係団体の主催・関連行事	11-13
	広報委員会からのおしらせ	13
	イベントカレンダー（9 月 4 日～10 月 19 日）	14

【コラム】私のエコ体験（3）目薬の木を煎じて飲みました！

目薬の木（成木　株径 22Cm）

目薬の木（種）

目薬の木（苗木）

健康に勝る富なし、と言うことわざがあるように、健康に注意し感謝し生活をしています。

視力はもともと強くない方なので視力が少しでもよくなることにはたいへん興味があります。

だいぶ前の話ですが、テレビで目薬の木について放送がありました。それは、山仕事を行っているおじさんたちが休憩時に目薬の木を煎じてお茶がわりに飲んでいることでした。おじさんたちは視力も良好、老眼鏡なしに新聞を読むし、元気もりもりの姿でした。

情報では目薬の木の成分について、ロドデンドロール=肝機能を高める作用。カテキン=抗がん成分を含む、と言います。

漢方薬として売り物もあるようですが割高に感じました。そこで自宅に苗木を植えようと思い探しましたところ、栃木の花木センターで見つけ、買って植えました（1998 年ごろ）。現在、その木は成木となり、毎年種を飛ばしていますが、発芽率は大変に悪いことがわかりました。

目薬の木を煎じて飲んだところ、煎じ色は薄いコーヒー色で味は苦みが有り、漢方薬なのですぐ効果は出ないと思います。

煎じ前の保存方法ですが、枝は 5cm に切り、ナタで割り、細かい枝はそのまま紙袋等で保存します。

広辞苑で目薬の木について調べてみました。カエデ科の落葉高木、山地に生え葉は三小葉からなる複葉で、裏面と葉柄に細毛を密生、樹皮を煎じて洗眼に用いるのでこの名がある。長者の木と述べている。煎じ方法、私のやり方を述べます。保存枝 150g を水で洗い、水 2L、沸騰 20 分を 2 回行い 1 液 2 液を合わせ、瓶で常温保存し適宜飲みます。

なお、目薬の木を植えて育てる場合の注意点について、株部から甲虫（カミキリ虫）の幼虫が木内部に入り食い荒らし、木が枯れることが多くあります。株部に内部から食べかす（フン）が出ているのでわかります。かす穴から針金等で突っつき内部の幼虫をつぶします。予防方法は株回りにみかんの皮（夏みかんの皮もよい）を置く方法があります。目薬の木を植えてみたい方はお知らせください。　　（渡辺利衛）

目薬の木（煎じ前の枝など保存方法）

【コラム】川越の自然を訪ねて（46）大人の自然観察

安比奈親水公園でチョウ調べ

雑木林でトンボ調査

雑木林に昆虫を追い、小川で魚と戯れた少年の日々をもう一度。年輪を重ねた今こそ、ゆっくり自然と向き合う好機と思います。楽しみながら心身の滋養となる生き物との触れあいに出かけてみませんか。

◎里山で出会える昆虫“クワガタムシ”

里山は人の生活と結びついた自然です。定期的に手入れがなされるため、比較的安定した環境が保たれ、それをうまく利用する多くの昆虫に出会うことができます。子供の頃、大きな大あごを持つクワガタムシに憧れた人は多いでしょう。指を挟まれて痛かったことを懐かしく思い出す人もいるに違いないと思います。

クワガタムシは今では日本だけで 40 近い種が知られていますが、ノコギリ、ミヤマ、ヒラタクワガタは遭遇する機会が比較的多い大型種です。クワガタムシといえばたいていの人が雑木林そしてクヌギを思い浮かべるでしょう。

確かにクヌギ、コナラ、ミズナラ、シイ、カシなど、ブナ科樹木は産卵によく使われるようです。しかし、樹液を求めて集まる木となると、ドロヤナギ、エノキ、ハルニレ、カエデなど広範囲に及びます。樹液が出ている木は、すべてクワガタムシ探索の対象になるという愛好家もいるくらいです。

特に川原に生えたヤナギの木は必ずチェックしましょう。ノコギリクワガタやミヤマクワガタなどは昼間も行動しているのが見られますが、クワガタムシは基本的に夜行性です。

餌場となる樹液は昼間のうちに見つけておくとよいです。タテハチョウの仲間やコガネムシ、スズメバチなどが飛び回っていれば、その付近に樹液の出ている木があるはずです。また、樹液の出る場所が高い位置にある時には双眼鏡があると観察しやすくなります。

◎“トンボ”

童謡にも歌われている赤とんぼは、秋の到来を告げる風物詩のひとつとして愛されています。赤とんぼの多くは水田を繁殖や幼虫生育の場とするので、稲作の普及につれてしだいに東日本にも広がっていったと考えられています。里山を作った人間との関係の深いとんぼです。

一般の人の抱く赤とんぼのイメージはかなり広いようです。たとえば西日本で広く赤とんぼと呼ばれるウスバキトンボは山吹色をしていて成熟しても赤くならない。赤トンボの代表とされるアキアカネにしても羽化したての体は黄色で、秋になって成熟して初めて赤みが出てきます。

そこで学術的にはアカトンボをトンボ科アカネ属に含まれる種と定義する場合もあるようです。ところがアカネ属には雄が青くなるナニワトンボが含まれていたりするから話がややこしく、逆に真紅のショウジョウトンボはアカネ属ではないので赤トンボではないのです。

赤とんぼの観察は赤とんぼの範疇に入るかど

うか、アカネ属のなんという種かなど、種類を見極めるだけでも奥が深いようです。もうひとつトンボの仲間で忘れられないのは、日本最大のトンボ、オニヤンマです。その堂々とした飛翔は近くにいると羽ばたきの音や風を感じさせるほどです。オニヤンマは水路沿いや池の周囲の決まった道筋を巡回飛行しているのでその道筋さえ見つければ繰り返し観察することができます。

里山で会える昆虫としてカブトムシと並び立つ雑木林の雄クワガタムシと涼しげな透明の翅で飛ぶ姿に郷愁をかきたてるトンボについて紹介しました。

（猪俣昇）

【報告】かわごえ環境ネットの活動

「虫の観察会」報告

自然環境部会

講師の興味ある説明を聞く

アオズムカデ？

この中にヘビがいるよ

日時：7 月 31 日（日）9:00～12:00
参加者：33 名、スタッフ：6 名
場所:：「(仮称）川越市森林公園」計画地
講師:大塚豊(自然写真家､日本野鳥の会東京)、谷津弘子、本間幸治（NPO 武蔵丘陵森林公園の自然を考える会）

この虫の観察会も回を重ねて 14 回目になります。夏休みに入ってすぐの開催ですので親子の参加が多く、虫網や虫かごを手にチビッコたちが集まります。下見ではあまり虫がいなかったので、期待に応えられるか、主催者としては不安がよぎります。

「(仮称）川越市森林公園」計画地の雑木林は濃い緑に覆われ、梢から射す光が地面にくっきりと影をつくり夏本番です。さあ、これから隠れるのが上手な虫をたくさんの瞳で見つけます。すぐに気がつくのがセミです。雑木林一帯が蝉時雨に満ちていて、ニイニイゼミ、ミンミンゼミ、ヒグラシ、アブラゼミが確認されました。抜け殻もたくさんみつかります。

初めの心配はなんのその、子どもたちは次々とカマキリ、バッタの仲間など見つけて講師の先生は大忙しです。

朽木の下を調べていた男の子が大きなムカデを見つけて、追いかけて、追いかけて、大捕り物でした。アオズムカデらしい 10cm もあるムカデで、毒をもっているので刺されるとたいへんです。虫カップにいれ、みんなで縦覧して放しました。

次に休耕畑に行くと、今、ちょうど草刈りが終わったところでした。ここは日当たりがよく、雑草が繁茂していてバッタ、チョウ、トンボなどが多く､虫取りには好適な場所です。それが、一面丸坊主になってしまい「アー・・・」とため息がでましたが、しかし、絶妙なタイミングだったのです。隠れる場所がなくなった虫たちが次々と姿を現し、子どもたちの虫網が忙しく動き続け、何と“ヘビ”（アオダイショウ）まで出てきたのです。

男の子が網に確保し、みんなでおそるおそる触ってみました。地面に放すと隣の雑木林にサーッと姿を消しました。

その後､「ねずみがいる！」という声に行ってみると可愛いアカネズミでした。これもみんな

で観察して放しました。この原っぱは多くの生き物が隠れ住んでいたのが一気にあらわになり、右往左往していたところにちょうど我々が来たのでした（ラッキー）。

この雑木林では 300 種の昆虫が過去に調査確認されています。今回もわずかの時間でしたが、以下の表のように多くの種がみつかりました。野生の生き物はそれぞれの種に応じた環境に依拠して生息しているので、人間が特定の環境だけに整備してしまうと彼らは行き場を失います。様々な多様な環境のあるこの雑木林は多くの生き物のオアシスです。そっと地面を見つめると、そこにはたくさんの生き物が命をつないでいます。　（賀登環）

当日観察された生き物のリスト［2016 年 7 月 31 日（日）晴れ、8 月 11 日 谷津作成］

分類	目	種名			
哺乳類	ネズミ目	アカネズミ？（ネズミ科アカネズミ属）			
鳥類		ツバメ	ハクセキレイ	カワラヒワ	ハシブトカラス
		スズメ	シジュウカラ	ハシボソカラス	
爬虫類		アオダイショウ	ニホンカナヘビ	ニホントカゲ	
昆虫類	鱗翅目	ナミアゲハ	クロアゲハ	モンシロチョウ	キタキチョウ
		モンキチョウ	アカボシゴマダラ	ヤマトシジミ	ムラサキシジミ
		ムラサキツバメ	コミスジ		
		コシロシタバ（ヤガ科）	ヤママユ（羽化後の繭）（ヤママユガ科）		
	蜻蛉目	ウスバキトンボ	シオカラトンボ		
	甲虫目	マメコガネヒ	メコガネ	オオヒラタシデムシ	
		カブトムシ（死骸）	ノコギリクワガタ（死骸）		
		ウスバカミキリ	アオオサムシ	エゴヒゲナガゾウムシ（ウシヒゲナガゾウムシ）（エゴノキに）	ハイイロチョッキリ（産卵痕：シラカシの実）
		クチキムシの仲間	キマワリの仲間	ハサミムシの仲間	
	直翅目	ショウリョウバッタ	クルマバッタモドキ	エンマコオロギ（幼虫）	モリオカメコオロギ（幼虫）
		ヒメギス♀	クビキリギス（幼虫）	クダマキモドキsp（幼虫）	コロギス
		ゴキブリの仲間	オオカマキリsp幼虫	コカマキリ（幼虫）	
		ナナフシモドキ（幼虫）	ハサミムシの仲間sp		
	カメムシ目	ニイニイゼミ	アブラゼミ	ミンミンゼミ	ヒグラシ
		ツクツクホウシ（声）	セアカツノカメムシ（ツノカメムシ科）		
	脈翅目	ウスバカゲロウsp（幼虫：アリジゴク）			
	膜翅目	クロオオアリ	クロヤマアリ	アリ科sp	アシナガバチの仲間
クモ類		ジョロウグモ（コガネグモ科）	ナガコガネグモ（コガネグモ科）	カニグモ科sp	クサグモ（ササグモ科）
		イオウイロハシリグモ（キシダグモ科）	コモリグモ類の仲間		
ザトウムシ類		チャイロアサヒハエトリ（ハエトリグモ科）	オオシロコガネグモ（アシナガグモ科）		
その他	節足動物	アオズムカデの仲間			
		アオズムカデ？（頭部の色はいわゆるアオズムカデの色だったが、飼育者のブログによると頭の色での判断は怪しいらしい）本間さんのコメント。			
植物		ヤブカラシ	サルトリイバラ	ヤマノイモ	ミズヒキ
		エノキ	コナラ	クヌギ	ヤマザクラ
		ウワミズザクラ	エゴノキ	アオハダ	リョウブ
		ヒノキ			

【報告】会員・流域の活動

田んぼの生きもの調査（植物編）と野草料理を食べよう！　かわごえ里山イニシアチブ

生きもの育む田んぼやその畔の動植物で、地球からの贈り物を満喫しました。

かわごえ里山イニシアチブでは年に 2 回田んぼの生きもの調査を行い、環境に配慮した農法での水田に生息する生きものの生態系を観察しています。

第 1 回目の 6 月 25 日（土）は動物編と題して昆虫や水生動物などを（7 月号記事）、そして今回は第 2 回として 7 月 30 日（土）に植物編を開催しました。

はじめに、クラフード代表で生きものや生態系に詳しい林鷹央講師が集合場所の高梨農園周

辺から田んぼまでの道のりの植物をゆっくり移動しながら説明してくださいました。普段、よく見かける道端の草花も名前や特徴を知らないものが多く、改めて足元の自然に目を向けることができました。田んぼに着いてからは、畔に多いツユクサ、カキドオシ、シロツメクサ、そして田んぼの中に生えて最も手をわずらわせるとされるコナギを手分けして採取しました。

その後､北部地域ふれあいセンターへ移動し、安田花織講師の考案のレシピの説明を受けグループに分かれて調理しました。安田講師はお店を持たず、様々なところに出向いて食材の背景やストーリーを盛り込んだ身体も心も喜ぶおいしいお料理を作っています。

コナギはベスン粉と呼ばれるヒヨコ豆の粉に塩とすりおろし生姜をいれたインド風天ぷらに！粉に味付けがしてあるのでそのままでもとてもおいしく、少し、もちっとした食感がクセになりそうです。塩もみしたカキドオシをまぶしたおにぎりは薬膳ご飯という感じ♪玉葱とツユクサのマリネはヨーグルトに塩とニンニク、レモン、オイル、ココナッツミルクを加えたソースでさっぱりしていますが食べごたえがあります。

コナギでもう 1 品は卵をたっぷり使い、パンケーキなみの厚さの豪華なチーズオムレツに、シロツメクサは白玉団子に黒砂糖とレモンで作ったシロップをかけたデザートに浮かべて可愛らしく。

今回は植物編でしたが、田んぼに生息するアメリカザリガニも仲間入りしました。こちらはフレンチでは高級食材、出汁のでるおいしいトマトベーススープに早変わりし、命を感謝していただきました。日本に昔から生息する他の生きものをおびやかし、田んぼに穴を空けてしまうなど、生物多様性にも稲作にもやっかいものとされてしまうアメリカザリガニですが元はといえば、海外より食用ガエルのエサ用に持ち込まれ、人間の都合で捨てられて繁殖してしまった生きもの。おいしいお料理としてありがたくちょうだいしたエネルギーをよいことに使って循環させていこう！と思いました。

スープからマリネ､チーズと卵料理のメイン、デザートまでと、まるでコース料理のようなおしゃれなメニューに野草料理のイメージが一新。

今度、野草料理にワインを合わせてお食事会したい、とお酒好きの女性たちの話に花が咲きました。素敵なレシピで一期一会のおいしくおしゃれなメニュー考案とお料理をしてくださった安田花織講師、楽しい解説と歌で盛り上げてくださった林鷹央講師に感謝です。

かわごえ里山イニシアチブでは稲作に留まらず、今後も楽しい企画と仲間づくりをめざして会員募集中です。そして 9 月下旬に収穫予定の生きもの育む田んぼの新米のご予約を承っております。会員以外の方でもお気軽にご注文いただけます。昔からお米がおいしいことで評判の福田地区で育った新米をぜひ一度ご賞味ください。　（柏井喜代恵）

豪華な野草料理に変身

林鷹央講師から野草の説明を聞く参加者

安田花織講師と林鷹央講師

「赤間川の灯篭流し」60 年ぶりに

60 年ぶりの灯篭流し風景

きれいな流れを取り戻した新河岸川の上流、昔の名前では「赤間川」。高沢橋、石原橋の間で、夏の風物詩として「花火大会」とともに「灯篭流し」も行われていました。古くは徳川時代からの由緒ある行事でした。地元の有志が、自治会、新河岸川を守る会などの協力で「復活の灯篭流し」を 8 月 20 日（土）の夕方から行い、石原橋から流して濯紫公園で回収しました。

子供らの願いを書いた灯篭が、雨で増水した流れを走るように流れて、多くの市民の歓声が沸きました。

（武田侃蔵）

親子で里山体験と木工教室　　こもれびの森・里山支援隊（東洋大学小瀬研究室）

「こもれびの道」の散策

こんな太い木を切る子どもも

ネームプレートやバードコールの製作

8 月 6 日（土）9:00～13:00 に東洋大学川越キャンパスにおいて、「親子で里山体験と木工教室」を開催しました。一般参加者 11 名を含む 20 名が参加しました。

大学の通学路になっている「こもれびの道」沿いでの昆虫観察をしながら、同会が定期的に管理をしている林内に入り、成長阻害木となっているシラカシ、ヒサカキを伐採しました。手鋸を使っての除伐を子どもたちに経験してもらうとともに、木を倒すことにより林床に日光が入り込んでいく様子を体感してもらいました。

集合場所である「物創り工房」に戻ってから、あらかじめ加工した木や伐採した木を使ってネームプレートやバードコール、その他思い思いのものを工作しました。

こもれびの森・里山支援隊は、定期的に森林整備施業を行っています。詳しくは同会ホームページをご覧ください。　　（小瀬博之）

【報告】専門委員会

社会環境部会

社会環境部会 8 月例会は 8 月 12 日（金）福田ビル 3 階会議室において 9 名出席のもとに開催されました。

1.報告事項

部会代表から第 5 回理事会について、①関連団体が開催する 2 件の行事について本会への後援名義の要請があり了解されたこと、②川越まつり美化活動に際して実行委員会を立ち上げること、③エコプロダクツ川越 2016 には昨年を 300 名も上回る来場者があったこと等の協議等があったことが報告されました。

また、②に関連して、菊地さんから実行委員会の体制､今後の進め方等について説明があり、質疑のうえ部会としても対応することが了解されました。

2.協議事項

①9 月 2 日（金）実施の環境施設見学ツアーの申し込みは 11 日現在 26 名となっており、月刊紙 8 月号面でも引き続き募集を行う。これに関して 7 月 29 日（金）に見学先関係者と現地で事前打合せを行ったことについて原嶋さんから説明がありました｡②環境講演会は 11 月 5 日(土)午後の開催とし、会場は南公民館、講師については県庁温暖化対策課に依頼しており､15 日に打合せに伺う。なお今後パネルディスカッション、市の広報掲載について検討します。③エコドライブ推進活動は 11 月 5 日（土）つばさ館、11 月 20 日のかわごえ産業フェスタでそれぞれ計画しており、当部会メンバーから要員を派遣する等の協議を行いました。

3.自由討議

宮﨑誠氏が月刊紙 5 月号に寄稿した「私のエコぐらし」記事で紹介された、大型小売店が行っている独自のごみ回収活動について意見交換を行いました。

次回の進行は渡辺利衛さんが担当します。

（社会環境部会代表　板野徹）

かわごえアジェンダ 21 推進委員会

8 月 9 日（火）の委員会までに､「環境に配慮した行動 50」として次の項目を抽出しました。本紙のスペースを利用して紹介しますので、ご意見をいただければと思います（事務局におしらせください)。次回の 9 月 7 日（水）17:30～19:30 に川越市役所 3A 会議室で開催される委員会は、会員にオープンな会議としますので、直接ご意見されてもけっこうです。

第三次川越市環境基本計画の目標年度である平成 37 年度（2025 年度）までに川越市民が環境への取組を進める上で指針となる 50 項目の選定となります。すべての項目について全員ができるようになるということは想定していませんが、全員に行動してもらいたい項目、取組の向上を図りたい項目などに分けて評価することになろうかと思います。

9 月 7 日の委員会では、川越市環境基本計画の大施策の「化学物質等の環境リスク対策」「歴史と文化を生かした地域づくり」「快適に暮らせるまちづくり」「人づくり･ネットワークづくり」に沿って、環境に配慮した行動を検討します。

（委員長　小瀬博之）

環境に配慮した行動 50
（検討中の案、今後追加・精査します）

	1.地球温暖化対策の推進
1	省エネルギーを実行している。
2	再生可能エネルギーシステム･機器を購入または使用している
3	省エネ機器を購入または使用している
4	環境性能に優れた自動車を購入または使用している
5	エコドライブを実践している
	2.循環型社会の構築
6	環境配慮製品を優先的に購入している
7	マイバッグを持参している
8	生ごみの減量や自家処理をしている
9	リユース品を購入または使用している
10	空き缶やたばこの吸いがら等のポイ捨てをしない

11	ごみの減量･リサイクルに関するイベントやリサイクル体験講座へ参加している
	3.生物多様性の保全
12	市民参加による生物調査に参加している
13	生物多様性に関する講座に参加している
14	野生生物の生育・生息空間を保全している。
15	エコツーリズム的要素を取り入れた事業に参加している。
16	希少な野生生物を保護している。
17	外来種を「入れない」「捨てない」「拡げない」
	4.貴重な緑の保全
18	樹林地の保全・管理に参加している。
19	減農薬、減化学肥料、有機質堆肥の利用等の環境保全型農業に参加・実施している。
20	地産の農産物を食べている。
	5.多様な緑の創出・育成
21	生け垣や屋上、壁面（緑のカーテンを含む）、駐車場などを緑化している。
22	花いっぱい運動に参加している。
23	緑に関する講座、自然観察、ネイチャーゲーム等の体験イベントに参加している。
24	せん定枝や除草した草を資源化している。
	6.大気環境の保全
25	騒音・振動・悪臭を抑制している。
	7.水環境の保全
26	節水や水の有効利用をしている。
27	節水型機器を導入している。
28	雨水貯留槽などを設置することにより雨水利用をしている。
29	雨水浸透ますを設置している。
30	河川浄化活動に参加している。

【予告】かわごえ環境ネットの主催・出展・後援・関連行事

【トピック①】川越まつり会場クリーン活動 参加者募集

今年も川越まつりの準備の時期になりました。例年かわごえ環境ネットの会員団体のクリーン&ハートフル川越が長年実施してきた活動を、今年から、かわごえ環境ネットの事業として行います。赤いハッピを着てクリーン活動に参加しませんか!!

■川越まつり会場クリーン活動の概要

・開催日：10 月 15 日（土）、16 日（日）

・集合場所：川越市中原町 1-2-11 東側地先「かわごえ環境ネット」テント

・活動時間：11:00～21:00（2 時間単位）

・活動場所：川越まつり会場と周辺（時間帯により活動場所が変わります。）

・申込先：渡辺（電話・Fax049-242-4322）、菊地（携帯 080-5546-2362、E-mail: kikum.autumn@gmail.com

・その他：活動用の赤いハッピとクリーン活動用の道具を用意しております。

【トピック②・後援】「2016 アースデイ・イン・川越 立門前」10 月 2 日（日）開催

18 回目を迎えた「アースデイ・イン・川越」は、「フードバンク」と「食品ロス削減」と福祉のコラボを企画、合言葉は「もったいないからありがとうへ」となり、旧川越織物市場を会場に地元商店街全体で取り組むことになりました。福祉機器の展示や試乗なども加え、こども食堂などのブースも設け、総合的な福祉と環境の会場として準備が進められています。10 月 2

日（日）10:00-15:00 に例年通りの参加団体で、国際交流と環境問題の啓発にあたり、蓮馨寺を中心に地元の昭和のまちをにぎやかにする運動と合わせ、一層の充実が期待されています。第 1 回から使われているプログラムのイラストは「地球を取り巻く子供の姿」を使っていますが、今回は「恵まれない子供への愛」をどう具体化するか、地元との話し合いが持たれました。旧鶴川座の再生のためのアイデア募集と企画討論も予定しています。名前も「鶴亀座」として、「鶴亀算」のテストなども考えられています。また、例年通り、「世界平和・人類共存・地球環境・水と緑」に追加して「子らに“愛”」を加えた題での短歌・俳句・川柳・都々逸・標語を募集しています。

【トピック③】環境講演会の開催（11 月 5 日）　社会環境部会

11 月 5 日（土）午後、南公民館で県庁温暖化対策課の方を講師に招いて開催します。

内容は、昨年 COP21 参加国により締結された「パリ協定」のその後の動きを始め、地球温暖化を食い止めるための国、地方自治体、企業、民間団体そして我々ひとりひとりがなすべきことは何か、できることは何かなど、行政部局が持っている豊富な情報をもとに喫緊の課題について講演をいただく予定です。また、講演に引き続いてパネルディスカッションも計画中で、詳細については本紙次号でお知らせします。

どなたでも参加し、質問することができますので多数の方の参加を期待しています。

会合

◆（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会（第 7 回）

日時：9 月 7 日（水）17:30-19:30

場所：川越市役所本庁舎 3 階 3A 会議室（川越市元町 1-3-1）

●社会環境部会（2016 年 9 月度）

日時：9 月 9 日（金）13:00-15:00

場所：福田ビル 3 階会議室（川越市郭町 1-2-3）

●自然環境部会（2016 年 9 月度）

日時：9 月 9 日（金）15:00-17:00

場所：福田ビル 3 階会議室

＊両部会とも会員はどなたでも参加できます。

＊両部会は、毎月第 2 金曜日 13:00-15:00, 15:00-17:00 連続開催（次回は 10 月 14 日（金）同所）

◆事業運営委員会（2016 年度第 6 回）

日時：9 月 28 日（水）13:00-14:30

場所：川越市役所本庁舎 3 階 3A 会議室

＊次回は 10 月 19 日（水）13:00-14:30 川越市役所分室 3 階 B 会議室

◆理事会（2016 年度第 6 回）

日時：9 月 28 日（水）14:30-16:00

場所：川越市役所本庁舎 3 階 3A 会議室

＊次回は 10 月 19 日（水）14:30-16:00 川越市役所分室 3 階 B 会議室

◆（仮称）かわごえアジェンダ 21 作成委員会（第 8 回）

日時：9 月 28 日（水）16:30-18:30

場所：川越市役所地階修養室

◆広報委員会（2016 年 10 月度）

日時：10 月 5 日（水）11:30-12:30

場所：ウェスタ川越 2 階市民活動・情報コーナー（川越市新宿町 1-17-17）

＊9 月 7 日（水）は中止となりました。

自然環境部会主催事業

★（仮称）川越市森林公園計画地 植物調査・保全作業（毎月第 2・第 4 月曜日）

日時： 9 月 12 日・26 日、10 月 10 日・24 日（月）9:30-12:30

集合：9:30 川越南文化会館（ジョイフル）（川越市今福 1295-2）

問い合わせ：賀登（049-234-9366）

★池辺公園定例活動

日時：9 月 6 日（火）・10 月 4 日（火）9:00-12:00

場所：池辺公園（川越市池辺 1302）

問い合わせ：菅野

★寺尾調節池・新河岸川河川敷　生き物調査

日時：9 月 21 日（水）9:00-12:00

問い合わせ：菅野

★仙波河岸史跡公園　植物調査

日時：9 月 28 日（水）9:00-12:00

問い合わせ：菅野

【予告】会員・関係団体の主催・関連行事

川越市 環境部 環境政策課

問い合わせ（Tel.049-224-5866, Fax.049-225-9800, E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp）

◎くぬぎ山地区平地林保全管理活動

外来植物の除去など、平地林の手入れ作業

日時：10 月 2 日（日）10:00-12:00（9:30 受付開始）

集合場所：「くぬぎ山・駒ケ原の森」の草地（所沢市大字下富 1456-1）

服装等：林内作業用（長袖、長ズボン、帽子、タオル、軍手、飲み物等）

申込先:くぬぎ山地区自然再生協議会事務局(埼玉県みどり自然課）Tel.048-830-3150

申込期限：9 月 21 日（水）

NPO 法人武蔵丘陵森林公園の自然を考える会

問い合わせ：谷津弘子（Tel.&Fax.049-224-9118, foresth@nifty.com）

◎森林公園かんさつ会（自然を考える会主催）

日時：9 月 30 日（金）10:20-15:00 ごろ

国営武蔵丘陵森林公園（埼玉県比企郡滑川町山田 1920）南口休憩所解散、雨天決行。入園料要、参加費 200 円、昼食持参（園内レストランもあります)、雨具持参

森林公園で秋の花やチョウとの出会いをたのしませんか。

福原ファームクラブ

問い合わせ：横山三枝子（Tel.049-246-9319）

◎おいしく・楽しく農業体験

①9 月 10 日（土）9:30～

②10 月 8 日（土）9:30～

場所：明見院（今福 677）近く

内容：農作業（B 級品のお土産付き）

会費：保険代 100 円、クラブ員 1 家族 1,000 円（年間）

2016 年度予定表

月	日	活動内容予定
9	10	キャベツ畑の片付け
10	8	大根畑の片付け
11	12	里芋の収穫　芋煮会お椀、箸持参）
12	10	畑の片付け

みなみかぜ いきいき田んぼの会（川越生物多様性有機農法で地域づくりに取り組む会）

問い合わせ：社会福祉法人健友会 地域交流センターみなみかぜ 担当：佐藤（Tel.049-234-8500[9:00-17:00], Fax.049-239-5646, E-mail: tanbo373@yahoo.co.jp, 350-0807 埼玉県川越市吉田 204-2）

いつからでも、誰でも参加でき、活動の一回体験も可です。体験だけでもしてみませんか、

楽しいことうけあいですよ♪　田んぼ活動でいきいきしたいあなたを求めています！

◎農作業

日時：毎週火・金曜日の午前中（9:00-11:00）
9 月 6 日（火）、9 日（金）、13 日（火）16 日（金）、20 日（火）、23 日（金）、27 日（火）、30 日（金）
地域交流センターに集合。農作業は近隣の田んぼです。

◎月例会

9 月 9 日（金）10:30（作業終了後）-12:00
場所：地域交流センター　ホール

かわごえ里山イニシアチブ

問い合わせ：増田純一（E-mail: kawagoesatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-234-5269）

「かわごえ里山イニシアチブ」では、生物多様性育む田んぼの保全を目的に、みんなで連携して無農薬による米作りを支援し、生きものの賑わいを取り戻す活動を行っています。

◎例会

日時：9 月 24 日（土）16:00-18:00（予定、稲刈りと同じ日程ですので変更の場合もあります。）
場所：川越市北部地域ふれあいセンター（川越市山田 1578-1, Tel.049-223-7221）

ちょっと興味のある方、広く意見を求めるために会員でない方の参加を歓迎します。

◎稲刈り

日時：9 月 24 日（土）10:00-（集合 9:30）
集合場所：小江戸耕福米高梨農園（川越市福田 439）
参加費：非会員 300 円予定（保険など）
持ち物：長袖、長靴、タオル、帽子、飲み物、

午後もできる方は、弁当をご持参ください。
生きもの育む田んぼの稲刈りを、手刈りやコンバインを使って行います。

東洋大学小瀬研究室（こもれびの森・里山支援隊、地域活性化研究所）

問い合わせ：小瀬博之（E-mail: komorebisatoyama@gmail.com, Tel./Fax.049-239-1532）

定常的に参加していただける方、ご近所の方、大歓迎です。初めての方もぜひご参加ください。

◎こもれびの森・里山支援隊 森林整備施業

日時：9 月 10 日（土）・9 月 18 日（日）・10 月 9 日（日）・10 月 22 日（土）8:30 集合-12:00、12:45-15:00（解散 16:00）（荒天中止）
集合場所：東洋大学川越キャンパス 4 号館こもれびの道側入口（川越市鯨井 2100）
費用：無料
内容：手鋸、剪定鋏等を用いた小径木の下刈り、伐採、施業のための樹木調査など。
持ち物：汚れてもよい服装（長袖、長ズボン）、靴、手袋（軍手等）、手ぬぐい・バンダナ（ヘルメットの下に身に付けます）、タオル、飲み物、弁当など、あれば自前の道具（手鋸、剪定バサミ）
申込・問い合わせ：開催日 2 日前までにご連絡ください。
＊開催案内ブログ：こもれびの森・里山支援隊（http://ameblo.jp/komorebi-satoyama/）
＊中止の場合 Twitter で開催当日 6:30 ごろ通知（https://twitter.com/toyokomorebi/）
＊報告 Facebook（https://www.facebook.com/komorebisatoyama/）

◎「昭和の街の感謝祭 2016」ワークショップ

日時：9 月 10 日（土）11:00-19:00
場所：蓮馨寺（川越市連雀町 7-1）
参加方法：当日直接会場へ

◎「2016 アースデイ・イン・川越 立門前」ワークショップ

日時：10 月 2 日（日）10:00-15:00
場所：蓮馨寺（川越市連雀町 7-1）
参加方法：当日直接会場へ

「昭和の街」の町並みの魅力を発見し、共有しましょう。参加者には会場等で使用できるチ

ケットを進呈します。
＊詳細は東洋大学地域活性化研究所ホームページ（http://www.toyo.ac.jp/site/irvs/）に掲載します。

クリーン&ハートフル川越

問い合わせ：渡辺利衛（Tel＆Fax.049-242-4322）・武田侃蔵（Tel.090-2521-5770）

◎「やめましょう！歩きタバコ・ポイ捨て・自転車放置」のゼッケンや「かわごえ環境ネット」の腕章をつけて、まち美化啓発運動

①第 1 火曜日・第 3 木曜日

日時：9 月 6 日（火）・15 日（木）、10 月 4 日（火）・20 日（木）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から川越市役所まで。

②第 2 日曜日

日時：9 月 11 日・10 月 9 日（日）9:30-11:00

本川越駅交番横から各方面に分かれて活動、中央公民館でごみまとめ。

③第 4 土曜日

日時：9 月 24 日（土）・10 月 22 日（土）13:30-15:00

川越駅東口アトレ横歩道橋下から本川越駅まで。ペペ地下のごみ収集所で分別、解散。

◎川の国・新河岸川市内流域の清掃

原則として第 4 日曜日 9 時より 2 時間。参加できる人は、担当箇所分担の割り振りのため、実施日の 3 日前までに武田へご連絡ください。

①9 月 25 日（日）9:00~11:00

新河岸川下流部、旭橋右岸と川崎橋左岸上下流の河畔を清掃。旭橋左岸で解散。

②10 月 23 日（日）9:00~11:00

新河岸川上流、赤間川公園横集合。氷川橋まで遊歩道など清掃。北公民館で解散。

公益財団法人 埼玉県生態系保護協会 川越・坂戸・鶴ヶ島支部

問い合わせ：笠原啓一（Tel.049-222-0957）、当日の携帯電話連絡（Tel.080-6584-3010）

◎伊佐沼でバードウォッチング（毎月第 2 日曜日）

集合：伊佐沼西岸蓮見橋 10:00、解散は集合場所で 12:00 ごろ（小雨決行）。持ち物：筆記用具、あれば野鳥図鑑・双眼鏡・飲み物・日よけ帽子。参加費：300 円、高校生以下 100 円（保険料・資料代）

①9 月 11 日（日）10:00-12:00

シギやチドリの渡りの季節です。アオアシシギ、オグロシギ、ツルシギなどが渡りの中継地として利用しています。シギたちの涼しげな声が水面を渡り聞こえてきます。モズの高鳴きも聞かれる頃です。秋を感じましょう。

②10 月 9 日（日）10:00-12:00

沼は水を落として冬に備えます。サギの群れ、シギやチドリが各々の脚の長さに合った水深の処で餌の小魚を探します。冬鳥の先発隊コガモが飛来するころです。

広報委員会からのおしらせ

●本紙への原稿投稿を受けつけています

2016 年 10 月号（No.120，9 月末発行予定）の掲載原稿は、9 月 15 日（木）必着です。原稿と写真は電子データで編集担当共有のメーリングリスト（koho@ml.kawagoekankyo.net）にお送りください。メーリングリストは事前登録が必要ですので、未登録の方は事務局に問い合わせください。メールを使用していない方は、かわごえ環境ネット事務局（環境政策課、川越市役所本庁舎 5 階）に提出してください。

●おことわり　本紙の記事は、各著者の寄稿及び広報委員会の編集によって構成されていますが、これらは、組織の公式な見解を示すものではありません。また、本紙は寄稿及び作成時点までの信頼できる各種情報に基づいて作成し、正確性の確保に努めていますが、その正確性に対してかわごえ環境ネットは責任を負いません。本紙は読者ご自身の判断と責任で利用いただき、本紙を利用することで生じたいかなるトラブルおよび損失、損害に対して、かわごえ環境ネットは一切責任を負いません。

イベントカレンダー（9 月 4 日～10 月 19 日）

日	月	火	水	木	金	土
9/4	9/5	9/6 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎9:00 農作業（みなみかぜ） ◎13:30 まち美化啓発運動	9/7 ~~◆16:00 広報委員会~~ ◆17:30 かわごえアジェンダ 21 作成委員会	9/8	9/9 ◎9:00 農作業 ◎10:30 月例会（みなみかぜ） ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	9/10 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎9:30 おいしく楽しく農業体験 ◎11:00「昭和の街の感謝祭」ワークショップ
9/11 ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	9/12 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	9/13 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/14	9/15 ◎13:30 まち美化啓発運動 〇10 月号投稿期限	9/16 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/17
9/18 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森）	9/19 敬老の日	9/20 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/21 ★9:00 寺尾調節池・新河岸川河川敷　生き物調査	9/22 秋分の日	9/23 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/24 ◎9:30 稲刈り（かわごえ里山イニシアチブ） ◎13:30 まち美化啓発運動 ◎16:00 例会（かわごえ里山イニシアチブ）
9/25 ◎9:00 新河岸川市内流域清掃	9/26 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	9/27 ◎9:00 農作業（みなみかぜ）	9/28 ★9:00 仙波河岸史跡公園植物調査 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会 ◆16:30 かわごえアジェンダ 21 作成委員会	9/29	9/30 ◎9:00 農作業（みなみかぜ） ◎10:20 武蔵丘陵森林公園かんさつ会	10/1
10/2 ★10:00 アースデイ・イン・川越 立門前 ◎10:00 くぬぎ山地区平地林保全管理活動	10/3	10/4 ★9:00 池辺公園定例活動 ◎13:30 まち美化啓発運動	10/5 ◆11:30 広報委員会	10/6	10/7	10/8 ◎9:30 おいしく楽しく農業体験
10/9 ◎8:30 森林整備施業（こもれびの森） ◎9:30 まち美化啓発運動 ◎10:00 伊佐沼でバードウォッチング	10/10 体育の日 ★9:30（仮称）川越市森林公園計画地調査・保全作業	10/11	10/12	10/13	10/14 ●13:00 社会環境部会 ●15:00 自然環境部会	10/15 ★11:00-21:00 川越まつり会場クリーン活動 〇11 月号投稿期限
10/16 ★11:00-21:00 川越まつり会場クリーン活動	10/17	10/18	10/19 ◆13:00 事業運営委員会 ◆14:30 理事会	★：会員内外対象の公開・出展・後援イベント ●：会員全員が対象の総会・部会・イベント ◆：理事・委員等が対象の理事会・委員会 ◎：会員主催のイベント等 〇：その他　詳細は個別の記事をご覧ください		

発行日　2016 年 9 月 5 日　編集・発行　かわごえ環境ネット 広報委員会
事務局　〒350-8601 埼玉県川越市元町 1-3-1 川越市環境部環境政策課
Tel. 049-224-5866（直通）　Fax.049-225-9800　E-mail: kankyoseisaku@city.kawagoe.saitama.jp
かわごえ環境ネットホームページ　http://kawagoekankyo.net/